第５４回年次大会　議事録

２００８年4月１９日（土）

会場：東京プリンスホテル・鳳凰の間

代議員総会・議事要録

（午前１０時開会）

１．開会宣言

司会の大内大会幹事（以下、「司会者」という）より本日司会進行を担当する旨の自己紹介があり、定刻となったので開会宣言を 330-A地区ガバナーL飯田善彦が行なう旨の挨拶があった。

そして、330-A地区ガバナーL飯田善彦より第 54 回年次大会代議員総会の開会宣言がなされた。

２．議長挨拶

司会者より、議案集２頁記載の「第 54 回年次大会・議事規則」第３項により、L飯田善彦ガバナーが議長に、L石井征二地区副ガバナーが副議長に就任する旨紹介がなされた。

大会議長L飯田善彦（以下、「議長」という）より、以下のとおり挨拶がなされた。

（議長　挨拶）

代議員の皆さま、おはようございます。

この 10 ケ月間、花の 330-A地区を目指し皆様方にささえられ、本日のライオンクラブ国際協会 330-A地区第 54 回年次大会をむかえられる事ができました。

ありがとうございます。

本日は、分刻みの代議員会のスケジュールになっております。

ご協力によりまして、無事進行できます様ご協力をお願い申し上げます。

本年年次大会の部会員のご協力に関しまして、厚く感謝申し上げ、挨拶にかえさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

３．議長より各正副委員長ならびに顧問紹介および大会議事規則の説明

議長より、代議員会における各委員会・分科会の正副委員長及び顧問の方々は、議案集６頁から８頁に記載のとおりであるとの紹介がなされた。

次に議長より、議案集 2 頁から 3 頁に記載の 330-A地区第 54 回年次大会議事規則によって進行するとの説明がなされた。

４．次期地区ガバナー立候補者紹介

議長より、次期地区ガバナー立候補者は、東京八王子陵東ライオンズクラブ所属Ｌ石井征二１人であり、Ｌ石井征二の経歴については議案集 18 頁に記載されているとおりである旨紹介がなされた。

５．次期副地区ガバナー候補者紹介

議長より、次期副地区ガバナー立候補者は抽選順に東京日本橋ライオンズクラブ所属Ｌ岡野忠生及び東京王仁ライオンズクラブ所属Ｌ安王錫の 2 名であり、Ｌ岡野忠生の経歴については議案集 19 頁に、Ｌ安王錫の経歴については議案集 20 頁に記載されているとおりとの紹介がなされた。

６．資格審査委員長より資格審査結果の発表

資格審査委員長Ｌ和田健治より、第 54 回年次大会の代議員数は現・前・元地区ガバナーを含め議案集 9 頁掲載の 549 名であること、本日 9 時 50 分迄に登録を済ませた代議員は536 名であり、全員の資格を確認し、有資格者であること、次期ガバナー立候補者及び次期副地区ガバナー立候補者についても資格を確認し、有資格者であることを認めた旨の報告がなされた。

７．次期地区ガバナー選出

地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長Ｌ古野長喜より、次期地区ガバナー候補者はＬ石井征二１名である旨報告がなされ、その後、次期地区ガバナー立候補者Ｌ石井征二の所信表明演説がなされた。

（次期地区ガバナー立候補者所信表明　Ｌ石井征二）　7 分間

皆さん、おはようございます。

次期のアル・ブランデール国際会長は、9 月 11 日のテロ事件の時に、警察官として最高の司令官の役目をなさった方です。

そして奥様はお医者様でして、ブランデール次期会長とともに前戦で医療を受け持った方です。そういった経験から、次期会長から「何か災害とか事故とかあった時にネットワークを作ってほしい」と次期ガバナーにメッセージをいただいております。

私も緊急対策委員会に、緊急対策アラート委員会を設置したいと思います。

2 番目に飯田ガバナーが、10 月 8 日・11 月 9 日に、ＣＳＦⅡ共同募金、そして献血活動をなさいました。非常に盛り上がりまして、皆さんが東京中の駅頭で感動を共有され、大成功だったと思います。

私も 11 月 8 日を「330-Ａ地区奉仕の日」と名付けまして、東京中のクラブのメンバーに

アクティビティをやっていただきたいと思っています。私の提案であります各クラブでいろいろ継続的なアクティビティがあります。環境問題に取り組んでいるクラブもあります。青少年問題もあります。薬物乱用防止問題、高齢者障害者の福祉とかいろいろやっております。

そういうクラブからの声をゾーンにあげ、そしてリジョンでまとめて東京中のあらゆる所で、330-A地区ではこういう良い奉仕活動をしているんだと。

それを 11 月 8 日に皆様方に提案を致します。

これから、各クラブの会長さんに随時お話して参りたいと思っております。

3 つ目は、会員増強です。ガバナーになられる方は必ず言います。私は会員増強委員会に特別と言う委員会の名称をつけさせていただくことになりました。

会員増強は、特別委員会、約 50 人位の規模の委員会だと思います。

皆さん、びっくりされると思いますけど、それくらいでやって今までにない会員増強をしたいと思っております。

大きな柱は、若者の招致と女性会員の増強です。まず、若者といいますとＪＣです。

青年会議所に、直に委員が例会訪問しまして、[40 歳を過ぎたら、ライオンズクラブではこういう事をやってるんだ、ロータリーばかりじゃないよ]と。

来期はすばらしい皆様方の叡智をいただきながら 330-A地区のためにがんばりたいと思います。

お願いします。ありがとうございました。

所信表明の後、全員一致でＬ石井征二が次期地区ガバナーに選出された。

８．次期副地区ガバナーの選出方法の説明

地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長Ｌ古野長喜より、次期副地区ガバナー立候補者は、東京日本橋ライオンズクラブ所属のＬ岡野忠生及び東京王仁ライオンズクラブ所属のＬ安王錫の 2 名であり、議案集 3 頁記載の大会議事規則 10 頁（2）の規定に従って、次期副地区ガバナーの選出を選挙によって執り行なう旨の説明が為された。

また、立候補者の抽選順に、まず東京日本橋ライオンズクラブ所属のＬ岡野忠生、次に東京王仁ライオンズクラブＬ安王錫の順に 7 分以内の制限時間内で所信表明がなされた。

（次期副地区ガバナー立候補者所信表明　Ｌ岡野忠生）　7 分

おはようございます。

このたび、副地区ガバナーに立候補させていただきました、東京日本橋ライオンズクラブ所属Ｌ岡野忠生でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は所信表明で述べております通り、ライオンズの選挙の規定を遵守することを代議員の皆様に約束し、選挙戦を戦ってまいりました。しかし、色々な文章が飛び交い、情報が

錯綜し、多大なるご迷惑をおかけした事、候補者の一人と致しまして心よりお詫び申し上げます。すみませんでした。

ライオンズの選挙規定は、その行為に対して罰則は何も書かれておりません。罰則規定のないライオンズの選挙規定を遵守するなんて青臭いと各方面の方々より何度もお叱りをいただきました。

しかし、何年もかけて先輩のメンバーの方々がお作りになられた選挙規定を守ることは、副地区ガバナーに立候補する者の義務である、ライオンズメンバーの証であると考えております。

規定を作るにあたって、理念である前文には、あえて罰則は作らないとあります。その理由として、規定はライオンマンとしてのその心にあり、その行為に恥じる者は、自ら退くべきであるとかかれております。もし、私がこの選挙規定を守らず、副地区ガバナーに当選したとしても、皆様の前で一体何ができるのでしょうか。330-A地区の未来を語れる事などできるのでしょうか。この規定を遵守しなければならないのです。私、この選挙期間中ライオンズ選挙規定を遵守したことを、ここにお誓い申し上げます。

私は、還暦を迎え、これからの人生、自分の大切な人と一緒に、残された時間をどのように過ごそうか、過ごす事ができるのかを考えました。大切な仲間がメンバーになれば、例会でお会いし、語り合う事も出来ます。友人をメンバーにお誘いすることは、とても勇気のいる事だと思います。是非、一歩前に進んでみて下さい。みなさんは、ご自分の会社や地域社会では、すばらしいリーダーの方ばかりだと私は思います。リーダーのあなたが、なぜライオンズクラブではご遠慮なさるんでしょうか。もっと胸を張って声を出して下さい。必ずやライオンズライフは充実したものになるはずでございます。

さて、奉仕活動についてです。奉仕活動は、家族、社会に対してライオンズクラブを理解していただく、最大の機会だと私は思っております。

私の所属クラブは毎年、春・秋募金活動を行なっております。その際、岡野家12名揃って参加をさせていただいております。家族全員が同じ体験をすることは、なかなか出来ることではありません。同じ体験の中で培われた家族の絆、ありがたいことに奉仕活動を通して年々強くなるのを実感しております。家族に理解される奉仕活動、家族が参加できる奉仕活動はすばらしいもの、すばらしい奉仕活動の継続こそが、自然とライオンズの品格をつくりあげるものだと、私は確信しております。どうか皆さん、私、岡野忠生に力をお貸し下さい。どうぞ力を与えて下さい。私は必ず変えます。私と一緒に皆さん、変えて下さい。お願い申し上げます。ありがとうございます。

（次期副地区ガバナー立候補者所信表明　Ｌ安王錫）　7分

皆さん、おはようございます。

ただいまご紹介いただきました副地区ガバナー立候補者の私は東京王仁ライオンズクラブのＬ安 王錫でございます。

私は東京王仁ライオンズクラブに入会して 20 数年、心温かな先輩や友人に恵まれ、またキャビネットを通して、多くの他クラブのメンバーの皆様と出会い、さまざまなアクティビティを経験させていただきました。そしてこの度、多くの皆様からのご推挙をいただき、立候補を決意した次第でございます。

私は大阪で生まれ、小中高を大阪で過ごし、その後上京して早稲田大学を卒業し、現在に至っております。一貫して日本の教育を受け、日本に育てられたいわゆる在日韓国人二世でございます。国籍は韓国ですが、私の妻も日本人、三人の娘たちも日本国籍で、私の物の考え方も日本的というよりも、日本人そのものと言っても過言ではないと思っております。

今日まで私は苦学をし、一生懸命働いてまいりました。そして今では何とか皆様と同様に、ライオンズの会費が払えるほどの経済的基盤もでき、ライオンズという同じ土俵で奉仕活動を行い、共通の喜びを味わうができる多くの友人もできました。このことに、深く感謝しております。

さて、東京王仁ライオンズクラブ結成以来 30 数年、この東京にて、日本の社会のお役に立つべくクラブ運営を行なってまいりました。そして、有意義なアクティビティを数多く重ねてまいりました。全メンバーが 3 回にわたってメルビン・ジョーンズフェローを達成し、表彰されたのはついこの間のことでございます。この様な王仁ライオンズクラブで育てられたことに誇りを持っております。この度の立候補にあたり、在日である私は、日本の社会から 330-A地区から、アジアの一員としてライオンを通して平和の息吹を発信していくことに情熱をかたむけたいと思っております。インターナショナルな視点で多くのアクティビティに邁進してまいりたいと思っております。

東京という日本の政治・経済の中心地であるということを考える時、私達はこの混迷する社会に、明快な活動方針を発信していかなければなりません。まず第 1 に、青少年問題ですが、青少年に共生の世界観を育んでもらわなければなりません。そのために、ひとつ、薬物乱用防止アクティビティの継続と推進に力を入れてまいります。次にＹＥ青少年交換事業ですが、意義のある派遣と受け入れを検討し推進してまいります。

次に、国際プログラムであるライオンズクエストですが、これはもう更なる推進を図っていかねばならなりません。

2 番目に地球環境問題でございます。高齢者、幼児施設の周辺に自然による空気浄化をはかり、人と環境にやさしいアクティビティを推進してまいります。

3 番目に、クラブ活性化と新メンバーの獲得でございますが、キャビネットにクラブ活性化委員会を設置し、若い力が楽しく元気になれる仕組みを開発してまいります。そしてクラブの奉仕事業をできるだけ応援して入会して良かったと思えるクラブづくりに協力してまいります。

4 番目に、これは私ばかりではなくてこの地区のメンバー全員の皆様が願っておられることですが、ここ十数年にわたって存在する対立の構図を早く取り除かなければなりません。

このまま放置すると組織そのものが分裂し、崩壊する危険さえ考えられる状態であると言わざるを得ません。私はこの問題に真摯に真正面から取り組んで考えてみたいと思います。

友愛と寛容、そして協調の精神でみなさんこの地区を真の花の 330-A 地区に復活させようではありませんか。最後になりますがこの選挙期間中私を支えてくださったメンバーの皆様、ご声援を送ってくださった大勢の皆様に心からの感謝を申し上げまして私の所信表明の挨拶とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

9. 選挙に関する報告

選挙管理委員長Ｌ大内英男から選挙に関し、次の報告があった。「今回の選挙では、選挙規程に反する文書が多く発信された。委員長として、出来る範囲内で関係者に違反行為を指摘した。関係者はこれを理解したので具体的事実は報告しない。今後はこのような事のないよう要望する。」

10. 選挙方法の説明

選挙管理委員長 L 大内英男より投票会場が出口にあり、投票は各分科会ごとに順次ご案内すること、それから投票用紙の記入方法についての説明が為された。

投票用紙は代議員証についております「投票用紙引換証」と交換に投票所で交付されること、選挙を厳正かつ公平に行なうため、投票終了後は議案集 5 頁記載の、第 6 項の（7）に定められたもの以外、開票所に立ち入りは禁止されますとの説明がなされた。

11. 投票宣言

地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長 L 古野長喜より 2008～2009 年度副地区ガバナーの投票を開始の宣言が為された。

その後、大会副幹事Ｌ朝夷弘一より、各分科会会場説明がなされた。（内容省略）

また、議長の指示により司会より議案集の訂正がなされた。

議案集の 21 ページ。運営・協力、政策・会則、長期計画、中間法人連携、事後処理、選挙制度検討、ライオンズカード推進分科会の議案で提出案件 1、「奉仕活動が次年度以降にまたがるもの…」の提案者の事後処理特別委員長が、ガバナー提案に訂正。

・・・以下、順次、投票所を通り、各分科会会場に移動

12. 代議員総会再開

議長より代議員会の再開する旨の宣言がなされた。その後、資格審査委員長Ｌ和田健治より追加代議員数の報告がなされた。

（資格審査委員長報告　Ｌ和田健治）

それでは資格審査委員会から発表させていただきます。先ほど 9 時 50 分現在で合計代議員数は 536 名と申し上げましたけれども、追加登録代議員が 2 名ありました。それを確認いたしまして、合計登録代議員数は現在のところ、538 名です。以上。

13. 次期大会日程・開催地及びホストクラブ発表

（ガバナーエレクト発表　Ｌ石井征二）

先程はご信任いただきまして、本当にありがとうございました。来年度のホストクラブは東京八王子陵東 LC でございます。（会場内、東京八王子陵東 LC メンバーへ呼び掛け、拍手）

大会開催場所はこの東京プリンスホテル、4 月 18 日（土）でございます。よろしくお願いいたします。

14. 次期副地区ガバナー選出結果発表

議長より指名された、地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長Ｌ古野長喜より発表がなされた。

（地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長発表　Ｌ古野長喜）

「地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会」からご報告申し上げます。2008-2009 年度副地区ガバナー選出に関する選挙の結果をご報告申し上げます。投票総数 530 名、有効投票数 523 名、無効票 7 名、そのうち日本橋 LC 所属の L 岡野忠生 294 票、王仁 LC 所属の L 安王錫 229 票であります。従いまして、「地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会」は東京日本橋 LC 所属の L 岡野忠生を当選者といたします。以上であります。

その後、副地区ガバナー予定者 L 岡野忠生より以下の挨拶がなされた。

（副地区ガバナー予定者挨拶　Ｌ岡野忠生）

皆さん、ありがとうございました。これから一生懸命、勉強させていただきます。石井エレクトの下で、真剣にライオンズの事を学び、皆様方と一緒により良い 330-A 地区の発展の為に尽くさせていただく覚悟でございます。候補者 L 安王錫とはずっと一緒にいろんな場面でお会いし、お話もさせていただきました。私と安さんとの間には何のわだかまりも無いと私は確信しております。（拍手）協力し合って明日のライオンズを一生懸命作る覚悟でございます。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

15. 決議委員会・各分科会報告

決議委員長 L 久賀紳邇より、決議委員会分科会の結果について各分科会の審議報告を各分科会委員長の報告としたいとの申し出があり、議長はこれを了承した。

（運営・協力、政策・会則・長期計画、中間法人連携、事後処理、選挙制度検討、ライオンズカード推進分科会報告　委員長 L 本橋光一郎）

それでは運営・協力、政策・会則・長期計画、中間法人連携、事後処理、選挙制度検討、ライオンズカード推進分科会の委員長を務めました L 本橋でございます。決議結果の内容についてご説明いたします。

議案は 6 件ございまして、まず第 1 の議案でございます。これにつきましては文言を修正の上、承認されました。修正された内容について結果を述べさせていただきます。キャビネットの各委員会の奉仕活動が次年度以降にまたがるものについては、年次大会の決議をするものとし、次期以降はそれぞれの年度のキャビネットが資金管理する件、ということで承認されました。協賛金、義捐金等に関する内規についても審議されまして、これについても原案の一部を修正した以外は全部承認となりました。修正したところは議案集につけられています 23 ページの第 4 条の第 2 文というところを削除、及び引渡し期日の 7 条の 1、後期への書類及び金銭の引渡し…の文言が次期へのと修正されたのみでこれも承認されました。

あと第 2 の議案でございますが、愛の泉緊急災害援助資金から有限責任中間法人 330-A 地区支援会に対し、預託金返還資金として預託する件、これにつきましては原案通り承認されました。

第 3 の議案、愛の泉緊急災害援助資金規則を次のように改正する件も一部修正の上、承認されました。修正箇所は提案した原案の方では、表題から「愛の泉」という名前を削除するという提案だったのですが、これについては修正されまして、「愛の泉」はそのまま残すと、「愛の泉緊急災害援助資金規則」という名前も残りますとした上で、承認されました。資金運用に関する改正につきましては 21 ページに書いてある通りの改正という事で承認されました。

第 4 の議案でございます、キャビネットの一般会計、2006-2007 年度、貸借対象表の財産目録の出資金 300 万円とあるものを貸付金 300 万円と訂正する件、これにつきましては原案通り承認されました。

第 5 議案、「ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区と有限責任中間法人 330-A 地区支援会の人的物的連携に関する規定」の一部改正、これにつきましては改正案の通り承認すると決まりました。これも原案の通り承認でございます。

第 6 の議案でございます 2004-2005 度の決議、ライオンズカード還元金を中間法人 330-A 地区支援金の事務局取得に関する支援金の返済元資として積み立てるという決議を取り消

す件、及びカード会社からの還元金をすべて各クラブに還元するという件、でございます。これについては原案通り承認されました。従いまして、ライオンズカードの還元金は全額が各クラブに戻るという事になりました。従前は半額が配分という事でございましたが、全額を各クラブに戻すという事でございますので、各クラブのアクティビティ資金が増加するということになると思います。以上が私どもの分科会の決議の内容でございます。

（経理、財務・会計処理分科会報告　委員長 L 伊賀則夫）

経理、財務・会計処理分科会の L 伊賀則夫です。ご報告申し上げます。1 号議案の 2007-2008 年度 330-A 地区上半期会計報告書承認の件、ひとつを除いて承認されました。ひとつと申し上げたのは愛の泉基金の短期貸付金とういう表現ですが、短期貸付金というのは一年未満を指すのであって、これは短期ではない、長期ではないのか？また、これはいつ返って来るのかはっきりさせてほしいという意見が出ました。これについては次大会の代議員会にて解決をしていただくという事でご了承をいただきました。

2 号議案は 2006-2007 年度 330-A 地区会計報告書承認の件。基本的には承認されましたが、ドル建てでいつもアメリカに送金する訳ですが、日本は円で積み立てているのだから、ドルと円の両方の表現にするべきではないのか、という意見が出まして、これも次年度からそのようにお願いしようということで承認されました。

3 号議案ですが 2007-2008 年度の家族会費（家族会員地区費）について 2 人目以降 5 人目まで、家族会員の会員負担地区費および地区特別運営費を 2 分の 1 と軽減する件、承認されました。続いて 4 号 5 号 6 号 7 号 8 号まで一括承認ですが、4 号につきましては 2007 年度から 2008 年度地区クラブとして 1 クラブ一ヶ月 2,000 円拠出の件、です。5 号議案は 2008-2009 年度地区費として 1 メンバー1 ヶ月 480 円拠出の件、6 号議案、2008-2009 年度地区特別運営費として 1 メンバー一ヶ月 200 円拠出の件、7 号議案、2008-2009 年度地区大会費として 1 メンバー1 ヶ月 100 円拠出の件、8 号議案、2008-2009 年度地区特別大会費として 1 メンバー1 ヵ月 50 円拠出の件、一括承認されました。ただし、意見として IT 化をもっと進める事によって、キャビネット費用が軽減されるのではないだろうか、という意見が出まして、もっともだという事で IT 化をもっと進めていただきたいという意見がでました。

最後に 9 号議案の「330-A 地区協賛金・義捐金に関する内規」制定の件、これは経理、財務・会計処理分科会として処理する問題ではない、政策会則で処理する問題であろうということで、削除されました。以上、ご報告申し上げます。

（指導力育成、会員増強、エクステンション・リテンション、PR 情報、IT、大会参加、女性参加、家族会員増強分科会報告　委員長 L 石井祐治）

指導力育成、会員増強、エクステンション・リテンション、PR 情報、IT、大会参加、女性参加、家族会員増強、8 つの項目をいただきまして審議いたしました。

第1番目には2008-2009年度330-A地区アクティビティ・スローガンが3件ありまして、第1番目としては「奉仕のからだで感動をわれらの心に」とう言うことで晴海LCから提出されております。2番目としまして「地域社会に　笑顔で奉仕」ということで不忍LCから提出されました。3番目が「L字の誇り　改革と感動の一年！！」これは八王子陵東LC。それぞれ晴海LCは高尾会長、不忍LCは高田会長、それから八王子陵東LCでは鈴木会長、それぞれ3人から説明がございました。それから審議した結果です。やはり3番目の「L字の誇り　改革と感動の一年！！」、東京八王子陵東LCのスローガンが決まりました。

2番目としましてシンポジウムの開催でございますが、テーマ①女性会員増強の方法と意義及び家族会員制度について。特に女性の小林Lから発言がありまして、4月23日には憲政会館において女性会員の増強というシンポジウムがあるそうですが、是非みなさん、女性男性問わずご参加いただければ幸せであるという要請がありました。それから元ガバナー菅原20Kコーディネーターより会員制度の趣旨と内容の説明があり、やはり家族会員の増強の呼びかけがありました。330-A地区の女性会員は6.8%でこれを何とかして10%以上にあげていくべきとの説明があり会員全員で努力をしていく必要があるとの説明がございました。

テーマ②ITについてですが、藤村IT委員長からのご説明があり、プロジェクターを使用しての説明があり、その内容としてはデータベースの現況、各クラブのホームページの開設、ホームページの充実、各クラブのインデックスを開くと各クラブが地区内ですぐに見られる。これらについて参加者の意見があり、基本的な考えではなく、もう少しクラブ相互の接触と両方からの話し合えるようなフィードバックが出来るシステムを図るべきだとの発言がございました。相互発信と意見交換が出来るようすべきとのことで、IT関係ではもう一歩前に進んだような話し合いが出来ました。

テーマ③としまして、ライオンズ会員としての自覚と社会的役割及び国際大会参加の意義の再確認ということでテーマの言葉自体がサラサラっと書いてありますが、これは実はライオンズ会員としての自覚というところでプツッと一旦切った方がいいのではないか、という話がございました。特に指導力育成委員長の吉澤委員長がおりますので、このことに関しては非常に繊細なそれぞれに分けながらの言葉の説明がございました。それに対しては時間的な制限でわずか10分か20分かで終わらせることは不可能との事で、またこれは後日違ったところでご説明会を開きたいということです。

また大会参加についてですが、特に330-A地区では物見遊山的な状況が非常に多いというような苦情がございまして、これではいつになっても国際大会に出ている意味もないし、そういったことで非常に難しいという意見もございましたので、なんとか代理店に対して違った意味での選択をしていかないとまずいのではないかとの意見がございました。終わりに際しまして元ガバナーの小坂Lよりお誉めの講評があった事を申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます、ありがとうございます。

（アクティビティⅠ分科会報告　委員長Ｌ山田達）

アクティビティⅠ分科会委員長、Ｌ山田達でございます。ではアクティビティⅠ分科会の報告と発表を行います。社会福祉委員会委員長 Ｌ 木島より今期の活動報告の発表がございました。その後、シンポジウムが行われました。

テーマ①について、LCIF・CSFⅡ特別委員会の姉川委員長よりお礼とご報告そして提案がございました。内容についてはCSFⅡ献金 330-A 地区の達成率は 2008 年 4 月 11 日現在で 101%、献金総額は 3 年間で２億４６０６万６５０円で目標金額を達成する事が出来ました、との報告でございます。これもひとえに地区の皆様方のご支援、ご協力の賜物であるとのお礼の言葉があり、CSFⅡは LCIF の範疇に入り、LCIF は単一クラブでの力は及ばないような人道的奉仕活動に援助交付金をしている、クラブ援助交付金申請も検討してほしいとの提案がございました。

テーマ②としまして緊急対策委員会の梶原委員長より報告がございました。いつ発生するかわからない、東京直下型地震に対する委員会としての対応要綱をわかりやすく見易く作成し、各クラブへ一冊ずつお送りしたそうでございます。また、昨年の新潟中越沖地震発生時には 330-A 地区の皆様のご協力にお礼の言葉があり、また東京消防庁認定上級救急講習会の開催の報告がございました。

テーマ③につきましては環境保全委員会の風間委員長よりライオンズクラブとして当面なしうる活動についての報告そして活動についての発表がございました。1 つ・環境保全委員会の常設、2 つ・環境保全委員の一部留任、そして 3 番目として 330-A 地区環境問題プログラムの継続を強く訴えておりました。以上、発表を終わります。

（アクティビティⅡ分科会報告　委員長Ｌ兼益保夫）

アクティビティⅡ分科会の報告をさせていただきます。私ども分科会には薬物乱用防止委員会、YE 委員会、クエスト青少年育成委員会、国際協調委員会の 4 名の委員長さんがおられまして、それぞれの委員長から次のようなご報告をいただいております。

薬物乱用防止に関しましては薬物乱用防止教育講師認定証の制度を広める事が今後の委員会の主たる目的であるとの事でございます。段々と幼年化しております薬物の被害を防ぐためにも学校等にきちっとした講演を出来る講師を一人でも多く創りたく、委員会全員で考えております。

次に YE 委員会島田益吉委員長から、今期の YE 委員会は 2007 年 8 月 23 日の新旧 YE 委員会でスタートしました、と。一年に春、夏、秋、冬の来日生と派遣生とホストクラブ、ホストファミリーそしてスポンサークラブとを探し、お世話することに専念してきます、と。330-A 地区には冬季の来日生 6 名とホストファミリー7 名、春季の来日生 8 名、ホストファミリー10 名、春季派遣 5 名、夏季派遣 9 名、夏季来日生は 10 名を予定いたしておりますとのご報告をいただきました。

クエスト青少年育成レオ委員会の橘委員長からは、ライオンズクエストプログラムは

LCIF の最重要国際プログラムであり、更に 4 大交付金優先事業の一つに指定されております。クエスト青少年育成レオ委員会は今期クエスト PR 啓蒙元年と位置づけ、力強く継続的に普及活動を可能にすべくセミナーを恒常的に 10 回程度力強く開催していくと、今後はプログラムを更に強化する方向ですという報告です。

国際協調の高麗委員長からは国際協調の意義は、姉妹提携を結ぶことによりクラブ間の連帯感・充実感・感動が生まれお互いに WeServe の精神が高揚されると。以上の報告をさせていただきます。ありがとうございました。

ここで議長より、今までの決議・各分科会の報告内容について一括方式による承認の拍手が求められ、拍手多数により決議・報告内容は承認された。

また、常陸宮同妃両殿下お迎えの為、議長・副議長が中座し、大会幹事 L 大内英男がその任を代行する旨、拍手により承認を受けた。

続いて、アクティビティⅢ分科会の報告が行なわれた。

（アクティビティⅢ分科会報告　委員長 L 伊豆作次郎）

ただいま私の番で終わったかな、と一安心したところ、やってくれと言う事で、アクティビティ分科会Ⅲでございます。献血・エイズ、献眼・献腎・骨髄移植と、私どもは本日財団法人であります骨髄移植推進財団の事務局長の木村成雄さん、骨髄移植推進財団広報渉外部長、大久保英彦さんにいらしていただきまして、いろいろとご説明をいただきました。その後はスライドにおきまして骨髄移植の状況を説明していただきました。その中で感じた事はやはり 18 歳から 45 歳まで（注：５４歳）がドナー登録者の権利を持つという事でございまして、ここにおられる皆様はその域を脱していらっしゃるのではないかと、またそのスライドの内容につきましては、帰りまして全 14 リジョンのメンバーの皆様にスライドで説明した方がもっともっと拡大していくのではないかと思っております。

先だってもキャビネットからの説明で確か先月、テレビ東京におきまして骨髄移植の映画がございました。２時間近くやっておりましたが、助ける人もあるし助けられる人もある、なかなか大変な仕事だなあと思っておりました。いずれにしましても骨髄移植の問題につきましては、このライオンズクラブを通じましてさらに拡大するという考えに立ちましてこれからも頑張ってまいりますので、よろしくお願いを申し上げまして本日の発表とさせていただきます。ありがとうございました。

15. 閉会宣言

司会より、以上で議案全部の審議を終了し、これをもって３３０－Ａ地区第５４回年次大会代議員総会を終了する旨の閉会宣言がなされた。